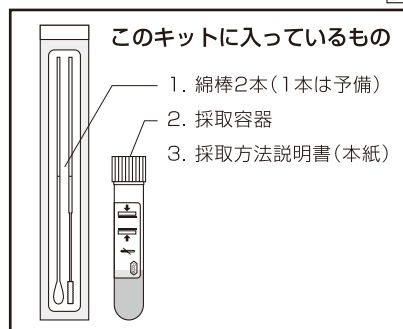


(性器)クラミジア・淋菌検体採取セット

採取方法説明書

※おお客様の手の届かない所に保管してください。



【ご使用上の注意】

～安全にお使いいただくために～

容器内の液体について



- 液を捨てたり、こぼさないようご注意ください。
- 液を飲まないでください。また口に含まないでください。
- 液が皮膚や目に触れた場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
(必要があれば医師の手当てを受けてください。)
- 液をこぼした場合、ビニール手袋やゴム手袋を着用して直接液体に触れないように拭き取ってください。

綿棒について

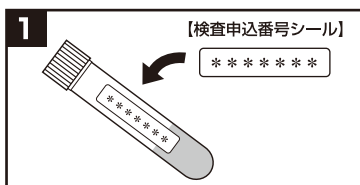


- 綿棒2本のうち、1本は採取に失敗した時用の予備です。どちらの綿棒をご使用いただいても問題ございません。
- 検体を採取する前に、綿棒を容器内の液体に浸さないでください。
- 付属の綿棒以外は使用しないでください。
- 中央付近の線の所で折れやすくなっていますので、検体採取前や検体採取中に強い力を加えないでください。
- 綿球部分の繊維は、腔内に万が一残ったとしても、人体に害はございません。
- 綿球部分が黄色くなっている物もございますが、品質上・検査精度上問題はございません。
- 綿棒はすべて、滅菌処理を行っております。安心してご使用ください。

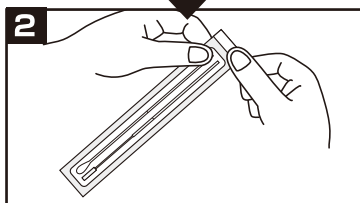
採取上の注意 ～大切です!!～

- 容器内の液体に浸した綿棒は絶対に検体採取に使用しないでください。
- 生理中の採取は避けてください。
(血液が大量に混入すると正しい結果が得られないことがあります。)
- 無理な力を入れて採取を行わないでください。粘膜を傷つける恐れがあります。
また、綿棒が腔内で折れる恐れがあります。
- 容器内には採取した付属の綿棒だけを入れてください。
- 採取した綿棒は速やかに容器の液体の中へ入れてください。

【検体採取の方法】



検査申込番号シールを採取容器に貼ってください。
※検査申込番号シールは、別紙の「検査セット取扱説明書」に付属されています。

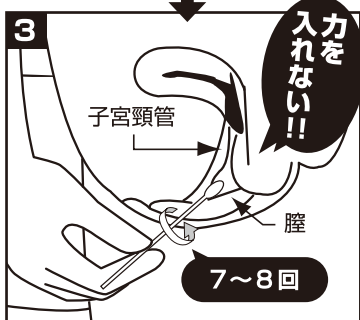


綿棒を持ちながら容器のキャップを開け、綿棒を折って中に入れ、キャップをしっかり閉めます。

※綿棒は中央付近の線で折れやすくなっています。容器のフチを使って、線の所で曲げるように折ってください。

※残った柄の部分は破棄してください。

※容器内の液は絶対に捨てないでください。また、こぼさないようご注意ください。**液がないと検査を実施できません。**



腔分泌物を採取します。

綿棒を腔内(腔入口から3~4cm程度)に挿入し、同じ方向にそっと7~8回回転させ、まっすぐ静かに引き抜いてください。

※腔内で綿棒を強く曲げないでください。綿棒が腔内に残ったり、腔内を傷つけてしまう恐れがあります。

